

平成 22 年 5 月 26 日

平成 22 年度「多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム」

(略称：OVC プログラム)

派遣者各位

大阪大学文学研究科

海外派遣中の不慮の事故等に対する責任について

大阪大学文学研究科では、平成 22 年度より「多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム（略称：OVC プログラム）」を実施することになりました。本プログラムは、日本学術振興会の「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」に採択されたもので、国際的に通用する若手研究者の育成を目的として、3 年間にわたり総数約 140 名の若手研究者（本研究科所属の大学院生、ポスドク、助教、講師）を海外に派遣します（渡航費・滞在費給付）。

本プログラムは、①横断的研究視察（4 件、各 5 名程度、約 7 日間）、②共同プロジェクト（6 件、各 5 名程度、5 日～10 日間）、③個人リサーチ（総数約 90 名、15 日間～60 日間）、の 3 つの派遣型により構成されています。①は海外での調査経験のない学部学生・博士前期課程（修士課程）在籍学生を主な対象とし、海外の著名な図書館・資料館等で、教員が引率して調査の仕方などを指導します。②は博士前期課程（修士課程）、後期課程在籍学生を主な対象とし、海外の大学等と共同でワークショップ、インターンシップ、フィールドワークなどを実施するもので、教員が引率・サポートします。③は博士後期課程在籍学生、ポスドク、助教、講師を対象とし、海外研究機関等で研究・調査を行い、国際学会等での発表をめざすものです。

大阪大学文学研究科としましては、安全確保、迅速な連絡、危機管理に努め、派遣者の滞在期間中の安全と派遣の成果を生む環境作りに配慮を行います。しかしながら、不可抗力としかいえない災害や事故、参加者自身の故意または不注意により生じる事故、あるいは所持品の紛失の発生等、すべてのことに対して大学側が賠償その他の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承ください。また、当然のことながら、本人の自由行動中の事故に関しても、その責任を負うことはいたしかねます。なお、特別な個人事情のため、統括担当教員と現地担当者の承諾の下で、派遣期間中に帰国する場合も、本人の自由行動とみなされます。

今回のプログラムに関しましては、万一の事故に備え、海外旅行総合保険への加入をおすすめします。保険代は自己負担になります。航空機の事故に対しては、国際航空協定に準拠して補償されます。

以上の点をご了承いただいた上で、プログラム参加につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

誓 約 書

大阪大学文学研究科長
片 山 剛 殿

私は、大阪大学文学研究科が主催する平成 22 年度「多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム（略称：OVC プログラム）」に参加するにあたり、以下の事項を守ることを誓約いたします。

1. OVC プログラム参加中は、大阪大学文学研究科に所属していることを自覚し、品位と矜持をもって行動するとともに、派遣先の大学等の規則を守り、研究に精励すること。
2. 派遣期間を満了すること。
3. 派遣先の国の法令を遵守し、社会秩序に反しないこと。
4. 自己の責任において危機管理を行うこと。
5. 到着日および原則毎月 1 日と 15 日に本プログラム事務局に連絡を入れること。
6. 本プログラム参加中の自然災害、テロ災害、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故、あるいは本人の故意または不注意による事故（本人の持病に起因するものを含む）によって生じた結果について、本研究科に対して損害賠償請求をしないこと。
7. 特段の理由により派遣中に帰国する必要がある場合には、本プログラム運営委員長の承諾を受け、帰国後すみやかに本プログラム事務局に報告すること。

平成 年 月 日

職

（例：助教・招へい研究員等）

氏

名

印